

# 古文ドリル：「な」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「な」の正体（4用法）

古文の「な」は、①文末に「そ」があるか ②直前の活用形 ③後ろに語が続くかを見れば見分けられます。同じ一文字に4つの用法が詰まっているので、手順で機械的に判定しましょう。

用法	接続・位置	訳	例
① 禁止の終助詞	終止形+な（ラ変は連体形）・文末	～するな	行くな
② 詠嘆の終助詞	終止形・連体形・体言など+な・文末	～だなあ	来にけり な
③ 完了「ぬ」の未然形	連用形 +な+（む・まし・ば・で・じ）	～してしまう（だろう）	散りなむ
④ 「な～そ」の副詞	な+連用形+そ（カ変・サ変は未然形）	～するな（禁止）	な笑ひそ

### 識別の鉄則（この順でチェック）

1. 文末付近に「そ」があるか → あれば「な～そ」の禁止の副詞「な」。
2. 「な」の後ろに「む・まし・ましか・ば・で・じ」が続くか → 続けば完了「ぬ」の未然形（直前は連用形）。
3. 文末で直前が終止形（行く・見る等） → 禁止の終助詞（命令の文脈）か詠嘆の終助詞（感動の文脈）。
4. 「な」を「なあ」に替えて通る → 詠嘆。命令・禁止の文脈なら禁止。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず文末の「そ」を探す

- 「な～そ」（な笑ひそ・な行きそ）が見えたら、その「な」は禁止の副詞。間に動詞の連用形（カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。

## コツ② 「な」の直後を見る

- 直後が「む・まし・ば・で・じ」→完了「ぬ」の未然形（散りなむ／咲きなば／果てなで）。直前は連用形。
- 直後がなく文が終わる→禁止か詠嘆の終助詞。

## コツ③ 直前の活用形で禁止と完了を分ける

- 終止形+な（行くな）＝禁止の終助詞。
- 連用形+な（行きなむの「な」）＝完了「ぬ」の未然形。
- 四段動詞は終止形（行く）と連用形（行き）が違うので見分けやすい。

## よくある引っかけ

- 「行くな」（禁止）と「行きなむ」（完了+推量）は、直前が終止形か連用形か+後ろに語が続くかで区別。
- 「な来そ（なこそ）」「なせそ」はカ変・サ変で未然形が入る例外。
- 詠嘆と禁止は接続が重なる。最後は文脈（感動か命令か）で決める。

## 採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

4用法を純粹に識別する。各用法5問ずつ。

### Q1. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行くな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**直前「行く」は四段「行く」終止形。文末で「行ってはいけない」。終止形+な＝禁止の終助詞。

Q2. 次の傍線部「な」を識別せよ。

見るな。

答え：禁止の終助詞「な」 解説：直前「見る」は上一段「見る」終止形。文末で「見てはいけない」。禁止の終助詞。

Q3. 次の傍線部「な」を識別せよ。

泣くな。

答え：禁止の終助詞「な」 解説：直前「泣く」は四段「泣く」終止形。文末で「泣いてはいけない」。禁止の終助詞。

Q4. 次の傍線部「な」を識別せよ。

もの言ふな。

答え：禁止の終助詞「な」 解説：直前「言ふ」は四段「言ふ」終止形。文末で「ものを言っはいけない」。禁止の終助詞。

Q5. 次の傍線部「な」を識別せよ。

恐るな。

答え：禁止の終助詞「な」 解説：直前「恐る」は下二段「恐る」終止形。文末で「恐れてはいけない」。禁止の終助詞。

Q6. 次の傍線部「な」を識別せよ。

春来にけりな。

答え：詠嘆の終助詞「な」 解説：「けり」は過去の助動詞終止形。文末で「春が来てしまったなあ」と感動を表す。「なあ」に替えて通るので詠嘆の終助詞。

Q7. 次の傍線部「な」を識別せよ。

月のあかきな。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「あかき」は形容詞「あかし」連体形。文末で「月が明るいことよ（明るいなあ）」。詠嘆の終助詞。

---

**Q8. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あはれなるな。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「あはれなる」は形容動詞連体形。文末で「しみじみと趣深いなあ」。詠嘆の終助詞。

---

**Q9. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

花散りぬな。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「ぬ」は完了の助動詞終止形。文末で「花が散ってしまったなあ」。「なあ」に替えて通る詠嘆の終助詞。

---

**Q10. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

秋深くなりけりな。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「けり」終止形+な。文末で「秋が深くなったなあ」と感動。詠嘆の終助詞。

---

**Q11. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

花散りなむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「散り」は四段「散る」連用形。後ろに推量「む」が続く。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「散ってしまうだろう」。

---

**Q12. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

咲きなば、見む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「咲き」は四段「咲く」連用形。後ろに仮定の接続助詞「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「咲いてしまったら」。

---

**Q13. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

行きなまし。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「行き」は四段「行く」連用形。後ろに反実仮想「まし」。連用形+な+まし=完了「ぬ」未然形。「行ってしまっただろうに」。

---

**Q14. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

日暮れなむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「暮れ」は下二段「暮る」連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「日が暮れてしまうだろう」。

---

**Q15. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

果てなで。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「果て」は下二段「果つ」連用形。後ろに打消接続「で」。連用形+な+で=完了「ぬ」未然形。「終わってしまわないで」。

---

**Q16. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な笑ひそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」と文末の「そ」が呼応し、間に連用形「笑ひ」。「な～そ」で「笑うな」という禁止。「な」は副詞的に文中に置かれる。

---

**Q17. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な行きそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「行き」+「そ」で「行くな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q18. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な泣きそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「泣き」＋「そ」で「泣くな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q19. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な来そ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋カ変「来」の未然形「来（こ）」＋「そ」で「来るな」。「な来そ（なこそ）」はカ変が**未然形**になる例外。

---

**Q20. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

なせそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋サ変「す」の未然形「せ」＋「そ」で「するな」。「なせそ」はサ変が**未然形**になる例外。

---

## 【第2部】 標準編（Q21～Q50）

---

さまざまな動詞・文脈で4用法を見分ける。

---

**Q21. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

思ふなよ。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「思ふ」は四段終止形。「な」の後ろは念押しの間投助詞「よ」。文末で「思っではいけないよ」。禁止の終助詞。

---

**Q22. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

来なむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「来（き）」はカ変連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「来てしまうだろう」。カ変連用形は「き」。

---

**Q23. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な散りそ、桜花。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「散り」＋「そ」で「散るな」。「な～そ」の禁止。桜への呼びかけ。

**Q24. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

うれしな。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「うれし」は形容詞終止形。文末で「うれしいなあ」と感動。「なあ」に替えて通る詠嘆の終助詞。

**Q25. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

立ちなば、知られなむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「立ち」は四段連用形。後ろに假定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「(噂が) 立ってしまったら」。

**Q26. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

ゆめ忘るな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「忘る」は下二段終止形（または四段終止形）。「ゆめ～な」で「決して～するな」。文末で禁止の終助詞。「ゆめ」は「決して」の副詞。

**Q27. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

咲きなむとす。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「咲き」は四段連用形。後ろに推量「む」。「な＋む」で「咲いてしまおうとする」。完了「ぬ」未然形。

**Q28. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な思ひそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「思ひ」＋「そ」で「思うな・心配するな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q29. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

暮れ果てぬ**な**。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「ぬ」は完了の助動詞終止形。文末で「すっかり暮れてしまったなあ」と感動。詠嘆の終助詞。

---

**Q30. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

過ぎ**な**ば、悔いむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「過ぎ」は上二段「過ぐ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「過ぎてしまったら」。

---

**Q31. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

われを頼む**な**。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「頼む」は四段終止形。文末で「私をあてにするな」。禁止の終助詞。

---

**Q32. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

**な**告げそ、人に。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「告げ」＋「そ」で「告げるな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q33. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

散り**な**んとす。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「散り」は四段連用形。後ろの「ん」は推量「む」の音変化。連用形＋な＋ん（む）＝完了「ぬ」未然形。「散ってしまおうとする」。

---

**Q34. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

めでたき**な**。

**答え**：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「めでたき」は形容詞「めでたし」連体形。文末で「すばらしいなあ」。詠嘆の終助詞。

**Q35. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

老い**な**ば、いかにせむ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「老い」は上二段「老ゆ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「老いてしまったら」。

**Q36. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な**わ**びそ。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+連用形「わび」+「そ」で「思い嘆くな」。「な～そ」の禁止。「わぶ」は嘆く。

**Q37. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

帰**り**な**む**、いざ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「帰り」は四段連用形。後ろに意志「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「帰ってしまおう」。

**Q38. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

騒**ぐ**な。

**答え**：禁止の終助詞「な」 **解説**：「騒ぐ」は四段終止形。文末で「騒いではいけない」。禁止の終助詞。

**Q39. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

言**ひ**な**で**、過**ぎ**ぬ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「言ひ」は四段連用形。後ろに打消接続「で」。連用形+な+で=完了「ぬ」未然形。「言ってしまうわないで」。

---

**Q40. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な驚かしそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「驚かし」+「そ」で「驚かすな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q41. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な惜しみそ、命を。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「惜しみ」+「そ」で「惜しむな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q42. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

散りなむと思へど。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「散り」は四段「散る」連用形。後ろに推量「む」が続く。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「散ってしまうだろうと思うけれど」。

---

**Q43. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

雨降るな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「降る」は四段終止形。文末で「雨よ、降ってはいけない（降るな）」。禁止の終助詞。

---

**Q44. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

暮れなんぞ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「暮れ」は下二段連用形。後ろの「んぞ（むず）」は推量。連用形+な+んぞ=完了「ぬ」未然形。「暮れてしまうだろう」。

---

Q45. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な嘆きそ。

答え：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） 解説：「な」＋連用形「嘆き」＋「そ」で「嘆くな」。「な～そ」の禁止。

Q46. 次の傍線部「な」を識別せよ。

心して使ふな。

答え：禁止の終助詞「な」 解説：「使ふ」は四段終止形。文末で「(不用意に)使ってはいけない」。禁止の終助詞。

Q47. 次の傍線部「な」を識別せよ。

死になば、もろともに。

答え：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 解説：「死に」はナ変「死ぬ」連用形。後ろに假定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「死んでしまったら」。

Q48. 次の傍線部「な」を識別せよ。

心憂きな。

答え：詠嘆の終助詞「な」 解説：「心憂き」は形容詞「心憂し」連体形。文末で「つらいことだなあ」。詠嘆の終助詞。

Q49. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な捨てそ、この文。

答え：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） 解説：「な」＋連用形「捨て」＋「そ」で「捨てるな」。「な～そ」の禁止。

Q50. 次の傍線部「な」を識別せよ。

明けなむ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「明け」は下二段「明く」連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「夜が明けてしまうだろう」。

## 【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

禁止と完了の紛らわしい識別、な～そのカ変・サ変、文脈判断を中心に。

### Q51. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行くな。

**答え**：禁止の終助詞「な」 **解説**：「行く」は四段終止形・文末。「行ってはいけない」。禁止の終助詞。次のQ52「行きなむ」と直前の活用形で比べよ。

### Q52. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行きなむ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「行き」は四段連用形。後ろに「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「行ってしまおう（だろう）」。Q51（終止形+な=禁止）と区別する。

### Q53. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なせそ、さること。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+サ変未然形「せ」+「そ」で「そんなことをするな」。「なせそ」はサ変が未然形になる例外。

### Q54. 次の傍線部「な」を識別せよ。

見えなむと思ふ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「見え」は下二段「見ゆ」連用形。後ろに意志「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「(姿を) 見せてしまおうと思う」。

**Q55. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

風よ、な吹きそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「吹き」＋「そ」で「吹くな」。「な～そ」の禁止。風への呼びかけ。

---

**Q56. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

過ぐな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「過ぐ」は上二段終止形。文末で「行き過ぎてはいけない」。禁止の終助詞。

---

**Q57. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

来（き）なば、告げよ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「来（き）」はカ変連用形。後ろに假定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「来てしまったら」。カ変連用形は「き」。

---

**Q58. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

な驚きそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「驚き」＋「そ」で「驚くな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q59. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

旅寝すな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「す」はサ変終止形。文末で「旅寝をしてはいけない」。終止形＋な＝禁止の終助詞。

---

**Q60. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

しなば、悔いなむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「し」はサ変「す」連用形。後ろに假定「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「してしまったら、後悔するだろう」。

---

**Q61. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

ともし火消え**な**む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「消え」は下二段「消ゆ」連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「灯火が消えてしまうだろう」。

---

**Q62. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

**な**わすれそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「わすれ」+「そ」で「忘れるな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q63. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

ことごとし**な**。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「ことごとし」は形容詞終止形。文末で「大げさだなあ」。詠嘆の終助詞。

---

**Q64. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

我ひとり生き残り**な**む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「残り」は四段連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「生き残ってしまうだろう」。

---

**Q65. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

もの**な**思ひそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「思ひ」+「そ」で「物思いをするな」。「な～そ」の禁止。「な」と「そ」の間に目的語「もの」が割り込む形もある。

---

**Q66. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

たち別れ**な**むず。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「別れ」は下二段「別る」連用形。後ろの「んず（むず）」は推量。連用形+な+んず=完了「ぬ」未然形。「別れてしまうだろう」。

---

**Q67. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あなかま、もの言**ふな**。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「言ふ」は四段終止形。文末で「ものを言っ**て**はいけない」。禁止の終助詞。「あなかま」は「静かに」。

---

**Q68. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

暮れ**な**で明けば。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「暮れ」は下二段連用形。後ろに打消接続「で」。連用形+な+で=完了「ぬ」未然形。「暮れてしまわないで」。

---

**Q69. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

**な**急ぎそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「急ぎ」+「そ」で「急ぐな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q70. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

はかなき夢を見**つるな**。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**「つる」は完了「つ」連体形。文末で「はかない夢を見たことだ**な**あ」。詠嘆の終助詞。

---

**Q71. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

雪降り**な**ば、道とぢ**な**む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「降り」は四段連用形。後ろに假定「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「雪が降ってしまったら」。

---

**Q72. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

ゆめゆめ怠るな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「怠る」は四段終止形。「ゆめゆめ～な」で「決して怠るな」。文末の禁止の終助詞。

---

**Q73. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

なものの言ひそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「言ひ」+「そ」で「ものを言うな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q74. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

我も行きなまし。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「行き」は四段連用形。後ろに反実仮想「まし」。連用形+な+まし=完了「ぬ」未然形。「私も行ってしまっただろうに」。

---

**Q75. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あたら桜をな散らしそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「散らし」+「そ」で「散らすな」。「な～そ」の禁止。「あたら」は「惜しくも」。

---

**Q76. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

立ち寄るな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「立ち寄る」は四段終止形。文末で「立ち寄ってはいけない」。禁止の終助詞。

---

**Q77. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

思ひ初め**な**ば、苦しからむ。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「初め」は下二段「初む」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「思いはじめてしまったら」。

**Q78. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

**な**起こしそ、寝たる人を。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+連用形「起こし」+「そ」で「起こすな」。「な～そ」の禁止。

**Q79. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

げにあはれ**な**るな。

**答え**：詠嘆の終助詞「な」 **解説**：「あはれなる」は形容動詞連体形。文末で「本当にしみじみと趣深いことよ」。詠嘆の終助詞。「げに」は「なるほど・本当に」。

**Q80. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

我を待ち**な**む。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「待ち」は四段連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「私を待つてしまうだろう」。

## 【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

有名出典・複合的な文で4用法を確実に判別する。

**Q81. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

風よ**な**散らしそ。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+連用形「散らし」+「そ」で「散らすな」。「な～そ」の禁止。風への呼びかけ。

**Q82. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

五月待つ花橋の香をかげば昔の人の袖の香ぞする、思ひ出で**な**む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「出で」は下二段「出づ」連用形（思ひ出づ）。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「思い出してしまうだろう」。

**Q83. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

ほととぎす**な**鳴きそ鳴きそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」+連用形「鳴き」+「そ」で「鳴くな」。「な～そ」の禁止。「な鳴きそ」を重ねて懇願を強める。

**Q84. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あはれ、はかなき世**な**。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**体言「世」+「な」。文末で「ああ、はかない世であることよ（はかない世だなあ）」と感動。体言+な=詠嘆の終助詞。

**Q85. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

つひに忘れ**な**む。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「忘れ」は下二段「忘る」連用形。後ろに推量「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「とうとう忘れてしまうだろう」。

**Q86. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

帰り**な**む、いざ里へ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「帰り」は四段連用形。後ろに意志「む」。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「帰ってしまおう」。

**Q87. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

物**な**思ひそ、春は来にけり。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「思ひ」＋「そ」で「物思いをするな」。「な～そ」の禁止。間に「物」が入る形。

---

**Q88. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

梅の花散るな。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「散る」は四段「散る」終止形。文末で「梅の花よ、散ってはいけない」。終止形＋な＝禁止の終助詞。

---

**Q89. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

暮れなむとすれど、帰らず。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「暮れ」は下二段連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「暮れてしまおうとするが」。

---

**Q90. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

香をな隠しそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「隠し」＋「そ」で「隠すな」。「な～そ」の禁止。

---

**Q91. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

いたづらに過ぎなば、惜しからむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「過ぎ」は上二段「過ぐ」連用形。後ろに仮定「ば」。連用形＋な＋ば＝完了「ぬ」未然形。「むなしく過ぎてしまったら」。

---

**Q92. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

言ふな、ゆめ。

**答え：**禁止の終助詞「な」 **解説：**「言ふ」は四段終止形。文末で「決して言うな」。終止形＋な＝禁止の終助詞。後ろの「ゆめ」は強めの倒置。

---

**Q93. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

鳴き**な**む鳥の声。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「鳴き」は四段連用形。後ろに推量「む」（連体形で「鳥」を修飾）。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「鳴いてしまうだろう鳥の声」。

**Q94. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

**な**侮りそ、おさなき者を。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+連用形「侮り」+「そ」で「侮るな」。「な～そ」の禁止。

**Q95. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

我が宿の花見がてらに来る人は散り**な**むのちぞ恋しかるべき。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「散り」は四段連用形。後ろに推量「む」（連体形で「のち」を修飾）。連用形+な+む=完了「ぬ」未然形。「散ってしまった後が恋しいだろう」。

**Q96. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あたら命を**な**捨てそ。

**答え**：禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説**：「な」+連用形「捨て」+「そ」で「捨てるな」。「な～そ」の禁止。「あたら」は「惜しくも」。

**Q97. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

老い**な**ば、すべなし。

**答え**：完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説**：「老い」は上二段「老ゆ」連用形。後ろに假定「ば」。連用形+な+ば=完了「ぬ」未然形。「老いてしまったら、どうしようもない」。

**Q98. 次の傍線部「な」を識別せよ。**

あはれと思へ、人**な**しらせそ。

**答え：**禁止の副詞「な」（「な～そ」の構文） **解説：**「な」＋連用形「しらせ」＋「そ」で「知らせるな」。「な～そ」の禁止。

---

### Q99. 次の傍線部「な」を識別せよ。

月な。

**答え：**詠嘆の終助詞「な」 **解説：**体言「月」＋「な」。文末で「(美しい) 月だなあ」と感動。体言＋な＝詠嘆の終助詞。直前が体言なので禁止（終止形接続）や完了（連用形接続）ではない。

---

### Q100. 次の傍線部「な」を識別せよ。

花も散りなむ。

**答え：**完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」 **解説：**「散り」は四段「散る」連用形。後ろに推量「む」。連用形＋な＋む＝完了「ぬ」未然形。「花も散ってしまうだろう」。

---

## 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、次の順でチェックし直しましょう。

- **文末に「そ」**があれば → 「な～そ」の**禁止の副詞**（間は連用形、カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。
- 「な」の後ろに「む・まし・ば・で」が続けば → **完了「ぬ」の未然形**（直前は連用形）。
- **文末・終止形＋な**で命令の文脈 → **禁止の終助詞**（～するな）。
- 「なあ」に替えて通り、**感動の文脈** → **詠嘆の終助詞**（～だなあ）。

特に「行くな（禁止）」と「行きなむ（完了）」は、**直前が終止形か連用形か＋後ろに語が続くか**で必ず見分けられます。手順を体に入れて、入試本番でも一瞬で判定しましょう。

---

この問題集は無料です。古文の他の識別（「ぬ」「ね」「に」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosenensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太